

2~2.5 ha 程度の切込みが可能で、収穫始めと終りのものの品質は略同一で調製される。

棚橋さんはF₁とうもろこしにおいてプランターによる播種、2回の除草剤散布、収穫、乾草調製における梱包、尿散布等を機械利用組合にお願いしており、年間の利用料は90~100万円で、約半分の50万円は乾草の梱包の料金となっている。

結びの言葉

最後に棚橋さんは『健全な土地から健全な草が出来、健康な草から健康な牛が育ち、そして健全な酪農が営まれる。即ち健土健牛これが私の酪農の信念です。』と語ってくれた。

(文責 札幌研究農場 上原昭雄)

海外ニュース

No-Hold Bars ノーホールドバー

「自由ゲート」

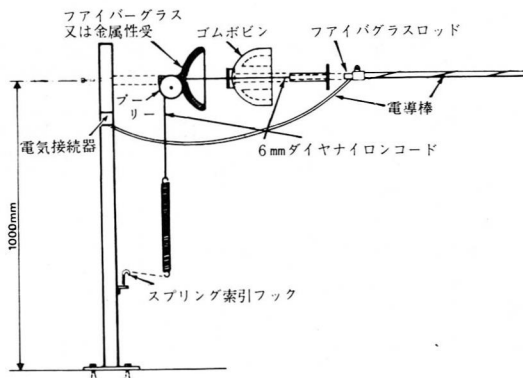
電牧のゲートを開閉するために絶えず立止っていませんか。トラクターでゲートを自由に走り抜ける事は便利です。

スコットッシュ農場設備研究所で使用されているポートタイプゲートをご紹介します。

図1はその主要部分の一般的な配置で、図2は飼槽わきに取り付けたポートタイプゲートです。

ゲートは互に向い合った2本の電導棒からなっています。

クライブストンというところではこの電導棒の高さは約1mが最適といわれます。地上1.2mで



第 1 図

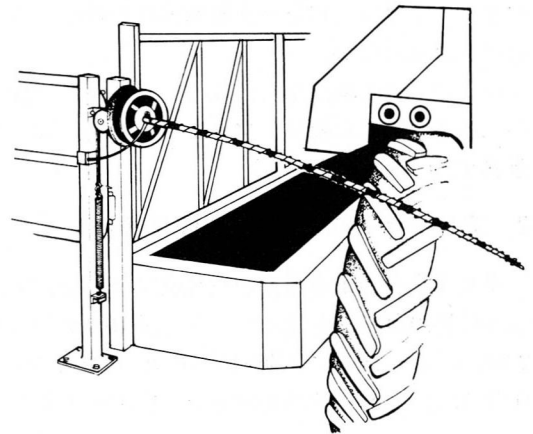
は家畜がくぐり抜ける恐れがあります。

この多方向に開閉するゲートは釣竿や深海魚用に使われるグラスファイバーロッドです。

図1の説明

組立てた電導棒、ゴムボビンを保定台にとりつけ(図2のように)プーリーを保定台の後ろで部分的に覆う。スプリングと6mmダイアナイロン線を電導棒につなぐと、電導棒とボビンは保定台内をどの方向にも回る。

電導棒がそれていない時は、スプリングの張力により水平の位置に保たれる。



第 2 図

図2の説明

これは飼料ワゴンが飼槽に沿って通過するときに、トラクターの後輪によりひっぱられ電導棒がどのように反らされるかを示しています。

反対側のもう1本の電導棒も同時に反れる。

この2本の電導棒の間隔は15cm以内にするとうよい。ゴムボビンの価格はウェブスタータイヤ社(グリーンバンクプレス, アバーデイン)製で8カナダドル。

(釧路工場 土屋邦雄抄)